

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	ナノデス アクユロード II	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.580	△RG	0.045	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール：ナノデス アクユロード II**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

番

**比較対照ボール：ナノデス アクユロード**

フレアーの幅  インチ

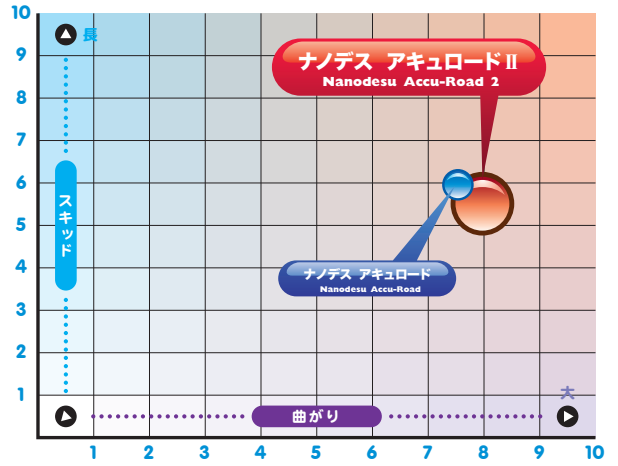
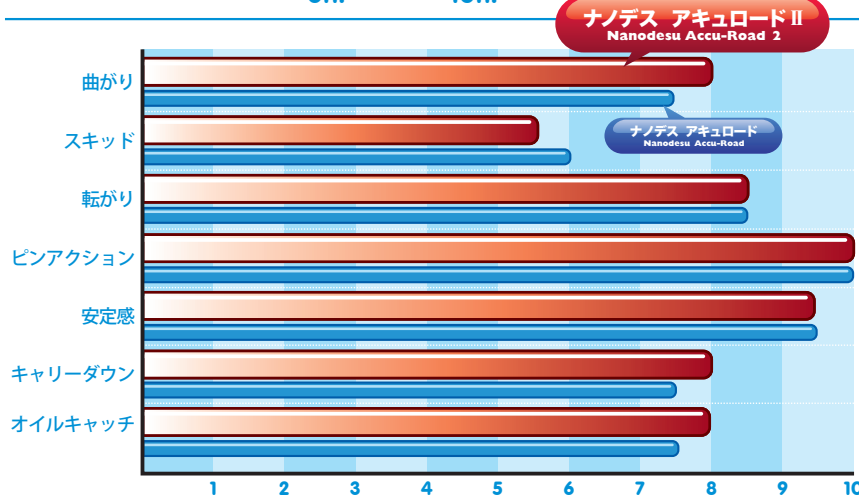
PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

### ボールの評価

昨年3月、Accu-Line Tour Premiumと同じカバーストックNano-Thane 2.0 PearlとHRLA CoreでACCU-ROADが発売されました。慣性が高めにセットされたコアと特徴を活かし、多くの方にAccu-Line Tour Premiumの後に使用して頂くことができました。現在のMade in Japanの品質は、ナノデスシリーズを筆頭にそのテクノロジーをARCH RIVALやGALAXYまでフィードバックさせ、今後国外メーカーよりも質の高いボールを提供する図式がすぐそこにあります。今回のACCU-ROAD 2もACCU-ROAD 2用に開発された新型コアにNano-Thane 3.0のカバーストックを搭載することで、現行で発売されているACCU-RISE3・4の後に使用できるようにアップグレードさせてあります。

ACCU-ROAD 2の特徴はNano-Thane 3.0カバーの強さを前面に出すのではなく、新型コアの特徴を前面に出したしなやかさが特徴的で、Nano-Thane 3.0と前作より強めになっているカバーの特徴が薄れるほど、キャッチはするのですがスキッドからしなやかなリアクションが印象に残ります。やはりACCU-ROADシリーズはハイパフォーマンス領域よりもミディアム領域を中心に、しかも良質な素材で高性能を追いかけているモデル。一番に感じるのは、1番3番のポケット付近にボールを集めやすいこと、ミキシングを合わせピンにボールが絡むピンキャリーの良さはやはり国産ならではの衝撃吸収システムと頷けること。そして誰でもピンキャリーの良いボールを持ちたいという、点数に直接影響の高い部分に開発の余念がないこと。しなやかな曲がり、安定したオイルキャッチ、群を抜くピンキャリー。あなたはこれ以上にボールに何を求めるのでしょうか。その要望に応え、期待を裏切らないのが国産匠の技がなせるナノデスシリーズだと私は思っています。

### 特記事項

**Nano-Thane 3.0を使用して前作よりもキャッチではアップグレードさせていますが、噛み過ぎることなく新型コアのしなやかな曲がり特徴のミディアムコンディションで良質なモデルに仕上がっています。**